

2012. 7. 29

全国大会競技問題

[Ⅱ] 表計算とアルゴリズム

(解答時間 問題【1】、【2】、【3】、【4】とあわせて40分)

注意事項

- (1) 筆記用具は、鉛筆またはシャープペンシルと消しゴムです。
- (2) 筆記用具などの物品の貸借はできません。
- (3) 電卓は使用できません。
- (4) 解答は明瞭に記入してください。
- (5) 答案を訂正する場合は、消しゴムできれいに消してください。
- (6) 答案作成が終わっても、着席したまま静かにしてください。
- (7) 途中で気分が悪くなった場合は、手をあげて係員に知らせてください。

【注意】 係員の指示があるまで、問題に手を触れないでください。

【1】 次の表は、ある全国チェーンのペットショップの本部における子猫の取扱いに関するものである。ワークシートの構成と処理条件にしたがって、各設問に答えなさい。

ワークシートの構成

シート名「在庫一覧表」

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	
1											
2	在庫一覧表							本日の日付 2012/7/29			
3	入荷日	猫コード	種類	性別	原産国	生年月日	月齢	取扱店	価格	店舗間移動の可否	
4	2012/6/12	AS01F1	アメリカンショートヘア	メス	アメリカ	2011/12/1	7	東京店	75,000	可能	
5	2012/6/12	MK01M2	三毛猫	オス	日本	2011/3/28	16	大阪店	63,000	可能	
6	2012/6/13	RB01M1	ロシアンブルー	オス	ロシア	2012/3/25	4	東京店	98,000	可能	
7	2012/6/13	PS01F3	ペルシャ	メス	イギリス	2012/3/5	4	名古屋店	87,000	可能	
8	2012/6/14	MK02F1	三毛猫	メス	日本	2012/1/9	6	東京店	68,000	可能	
9	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	
79	2012/7/11	SC02M2	スコティッシュフォールド	オス	イギリス	2011/6/26	13	大阪店	123,000	可能	
80	2012/7/11	RB02F1	ロシアンブルー	メス	ロシア	2012/4/11	3	東京店	108,000		
81	2012/7/12	PS02F2	ペルシャ	メス	イギリス	2012/4/2	3	大阪店	92,000		
82	2012/7/12	SC02F3	スコティッシュフォールド	メス	イギリス	2012/2/25	5	名古屋店	133,000	可能	
83	2012/7/15	MK03M3	三毛猫	オス	日本	2012/5/5	2	名古屋店	76,000		

シート名「取扱種類表」

	A	B	C	D	E	F
1						
2	取扱種類表					
3	種類コード	種類	原産国	店舗間移動の可否		
3か月未満				3~4か月	5か月以上	
4	AS	アメリカンショートヘア	アメリカ	×	○	○
5	MK	三毛猫	日本	×	○	○
6	PS	ペルシャ	イギリス	×	×	○
7	RB	ロシアンブルー	ロシア	×	×	○
8	SC	スコティッシュフォールド	イギリス	×	×	○

シート名「集計表」

	A	B	C	D	E
1					
2	月齢別集計表				
3	月齢		匹数		
4	0~3か月		19		
5	4~5か月		21		
6	6~7か月		23		
7	8~24か月		17		
8					
9	取扱店別集計表				
10	店コード	1	2	3	
11	取扱店	東京店	大阪店	名古屋店	
12	取扱数	46	17	17	
13	平均価格	56,000	59,000	62,000	

処理条件

1. シート名「取扱種類表」は、次のように作成されている。

- (1) このチェーン店では、猫の体調等を考慮して、種類ごとにある一定の月齢になるまで店舗間の移動をすることを禁じている。
- (2) D列～F列は、各種月齢ごとの店舗間移動の可否を、可能な場合は○、不可能な場合は×で表している。

2. シート名「在庫一覧表」は、次のように作成されている。

- (1) C列の「種類」およびE列の「原産国」は、B列の「猫コード」の左端から2桁をもとに、シート名「取扱種類表」を参照して表示する。
- (2) D列の「性別」は、B列の「猫コード」の左端から5桁目が、Mの場合はオス、Fの場合はメスと表示する。
- (3) G列の「月齢」は、F列の「生年月日」からJ2に入力された本日の日付までの期間を、月単位で求める。ただし、月齢の計算は、生年月日から、各月の同日に達した時点でカウントするものとする。

例 2012年1月1日生まれは、2012年2月1日で満1か月。

2012年1月30日・31日・2月1日生まれは、2012年3月1日で満1か月。

- (4) H列の「取扱店」は、B列の「猫コード」の右端の1桁をもとに、シート名「集計表」の「取扱店別集計表」を参照して表示する。
- (5) J列の「店舗間移動の可否」は、B列の「猫コード」とG列の「月齢」から、シート名「取扱種類表」を参照し、可能な場合のみ「可能」を表示する。

3. シート名「集計表」は、次のように作成されている。

- (1) 月齢別集計表のC列の「匹数」は、シート名「在庫一覧表」の月齢ごとの匹数を求める。ただし、月齢24か月を超える猫はいない。
- (2) 取扱店別集計表のC12～E12の「取扱数」は、シート名「在庫一覧表」の取扱店ごとの匹数を求める。
- (3) 取扱店別集計表のC13～E13の「平均価格」は、シート名「在庫一覧表」の取扱店ごとの平均価格を求める。ただし、千円未満を四捨五入して整数で表示する。

設問1 シート名「在庫一覧表」のD4に設定する式の空欄(1)～(2)をうめなさい。ただし、この式をD5～D83にコピーするものとする。

=IF([(1)](B4,5,1)=[(2)],"メス","オス")

設問2 シート名「在庫一覧表」のG4に設定する式の空欄(1)～(2)にあてはまる適切なものを解答群から選び、記号で答えなさい。ただし、この式をG5～G83にコピーするものとする。

=IF(DAY(J\$2)>=DAY(F4),
IF([(1)]-YEAR(F4)=0,MONTH(J\$2)-[(2)],([(1)]-YEAR(F4))*12+MONTH(J\$2)-[(2)]),
IF([(1)]-YEAR(F4)=0,MONTH(J\$2)-[(2)],([(1)]-YEAR(F4))*12+MONTH(J\$2)-[(2)])-1)

解答群

ア MONTH(F\$4)	イ MONTH(F4)	ウ MONTH(J\$2)	エ DAY(J2)
オ YEAR(F\$4)	カ YEAR(F4)	キ YEAR(J\$2)	ク YEAR(J2)

設問3 シート名「在庫一覧表」のJ4に設定する式の空欄(1)～(2)をうめなさい。ただし、この式をJ5～J83にコピーするものとする。

=IF([(1)](取扱種類表!\$D\$5:\$F\$9,[(2)](LEFT(B4,2),取扱種類表!\$A\$5:\$A\$9,0),
IF(G4<3,1,IF(G4<4,2,3)))="〇","可能","")

設問4 シート名「集計表」のC4に設定する式の空欄(1)～(3)にあてはまる適切なものを解答群から選び、記号で答えなさい。ただし、この式をC5～C7にコピーするものとする。

= [(1)](在庫一覧表!\$G\$4:\$G\$83,"<="&MID(B4,2,[(2)]-3))
-[(1)](在庫一覧表!\$G\$4:\$G\$83,[(3)])

解答群

ア FIXED(B4)	イ LEN(B4)	ウ SUMIF	エ COUNTIF
オ "<A4"	カ "<=A4"	キ "<="&A4	ク "<"&A4

設問5 シート名「集計表」のC13に設定する式の空欄(1)～(2)にあてはまる適切なものを解答群から選び、記号で答えなさい。ただし、この式をD13～E13にコピーするものとする。

=ROUND(AVERAGEIF(在庫一覧表!\$H\$4:\$H\$83,C11,[(1)],[(2)])

※関数 AVERAGEIF は、指定した範囲の中で、条件を満たすセルに対応した、平均範囲のセルの値の平均を求める。

書式 AVERAGEIF(範囲,条件,平均範囲)

解答群

ア 在庫一覧表!\$H\$4:\$H\$83	イ 在庫一覧表!\$H\$4:\$I\$83	ウ -3	エ 0
オ 在庫一覧表!\$H\$3:\$H\$83	カ 在庫一覧表!\$I\$4:\$I\$83	キ 1	ク 3

【2】 あるアパレル企業のA社では、市場調査及び商品の買い付けなどの目的で、担当者を定期的に海外に出張させており、出張に関する経費の概算を計算し、帰国後に精算をするために表計算ソフトを活用している。ワークシートの構成と処理条件にしたがって、各設問に答えなさい。

ワークシートの構成

シート名「出張費精算書」

	A	B	C	D	E	F	G
1	海外出張経費精算書						
2	1. 出張者						
3	社員コード:	A0022					
4	社員名:	大田 ○○					
5	部署:	営業部					役職: 課長
6	2. 渡航先						
7	国コード:	4					渡航先名: ベルギー
8	3. 出張期間						
9	出発日:	2012/7/16					旅行日数: 5 日
10	帰国日:	2012/7/20					宿泊日数: 4 泊
11	4. 出国前仮払い請求						
12	日当:	50,000 円					
13	宿泊費:	45,000 円					
14	諸雑費:	5,000 円					
15	合計:	100,000 円					
16	出国時レート:	1 ユーロ	102.35 円	現地通貨概算:		1,000 ユーロ	
17	5. 帰国後精算						
18	帰国時レート:	1 ユーロ	99.45 円				
19	日当:	50,000 円					
20	宿泊費:	359 ユーロ (実費・現地通貨)					
21	諸雑費:	215 ユーロ (実費・現地通貨)					
22	合計:	1,077 ユーロ (実費・現地通貨)					
23	差額:	-77 ユーロ (実費・現地通貨)					
24	精算額:	7,700 円					月末追加支給

シート名「社員表」

	A	B
1	社員表	
2	社員コード	社員名
3	A0011	前島 ○○
4	A0022	大田 ○○
5	A0034	柏田 ○○
6	B0012	渡嶋 ○○
7	B0023	小辺 ○○
8	B0034	高野 ○○
9	C0011	指井 ○○
10	C0022	松原 ○○
11	C0034	宮城 ○○
12	D0011	高澤 ○○
13	D0023	北西 ○○
14	D0034	峯原 ○○
15	D0114	河北 ○○

シート名「諸手当表」

	A	B	C	D	E	F	G
1	諸手当表						
2	部署	役職コード	1	2	3	4	
3	コード	部署\役職	部長	課長	課長代理	その他	
4	A	営業部	9,000	8,000	7,500	7,000	
5	B	開発部	8,000	7,500	7,000	6,000	
6	C	購買部	10,000	9,000	8,500	7,000	
7	D	経理部	7,500	7,000	6,500	6,000	
8	宿泊費		10,000	9,000	8,000	6,000	

処理条件

- 出張前にシート名「出張費精算書」のC4, C9, C13, C14およびD21に、帰国後にD24, C26およびC27に適切なデータを順に入力すると、精算額を求めることができる。なお、D21およびD24には、渡航先の1現地通貨あたりの日本円を入力する。
- 精算した結果、出張者は、出国時に支給された金額の残金がある場合は返金し、支給された金額より多く出費している場合は、追加支給される。
- 「社員コード」は、左端1桁が「部署コード」、右端1桁が「役職コード」としている。
- シート名「諸手当表」は、部署および役職による1日あたりの「日当」、および1泊あたりの「宿泊費」を表している。
- シート名「出張費精算書」の内容は、次のように作成されている。
 - C5の「社員名」は、C4の社員コードをもとに、シート名「社員表」を参照して表示する。ただし、C4に入力された社員コードが「社員表」にない場合はNGを表示し、未入力の場合は何も表示しない。
 - C6の「部署」およびF6の「役職」は、C4の社員コードから、シート名「諸手当表」を参照して表示する。ただし、該当コードが「諸手当表」にない場合はNGを表示し、C4が未入力またはC5がNGの場合は何も表示しない。
 - F9の「渡航先名」は、C9の「国コード」をもとに、シート名「渡航先表」を参照して表示する。ただし、C9に入力された国コードが「渡航先表」にない場合はNGを表示し、未入力の場合は何も表示しない。
 - F13の「旅行日数」は、C13の「出発日」からC14の「帰国日」までの日数を求める。ただし、出発日と帰国日は旅行日数に含める。なお、C13またはC14が未入力の場合は何も表示しない。
 - F14の「宿泊日数」は、F13の「旅行日数」から1日差し引いた日数を求める。ただし、C13またはC14が未入力の場合は何も表示しない。
 - C17の「日当」およびC18の「宿泊費」は、C4の社員コードから、シート名「諸手当表」を参照して求めた1日あたりの「日当」および1泊あたりの「宿泊費」に、「旅行日数」および「宿泊日数」をそれぞれ掛け、さらに、渡航先の物価を考慮し、C9の国コードをもとに、シート名「渡航先表」を参照して求めた「物価係数」を掛け、1,000円未満を四捨五入して求める。ただし、旅行日数が15日以上の場合は、15日目からの日当を所定の70%とする。なお、F6が空欄、またはNGの場合は何も表示しない。

シート名「渡航先表」

	A	B	C	D	E
1	渡航先表				
2	国コード	1	2	3	4
3	国名	アメリカ	韓国	イギリス	ベルギー
4	通貨単位	ドル	ウォン	ポンド	ユーロ
5	概算単位	100	10,000	100	100
6	物価係数	0.90	0.78	0.85	1.24

- (7) C19の「諸雑費」は、C17の「日当」とC18の「宿泊費」の合計の5%を、1,000円未満を切り上げて求める。ただし、C17またはC18が空欄の場合は何も表示しない。
- (8) C20の「合計」は、C17～C19の合計を求める。ただし、C17、C18およびC19のいずれかが空欄の場合は何も表示しない。
- (9) C21、G21、C24およびD26～D29には、C9の「国コード」をもとに、シート名「渡航先表」を参照して、「通貨単位」を表示する。ただし、F9が空欄またはNGの場合は何も表示しない。なお、C21およびC24には、先頭に1を付加して表示する。
- (10) F21の「現地通貨概算」は、C20の「合計」を、D21の「出国時レート」によって現地通貨に換算する。ただし、換算値は、「概算単位」を超える最も小さい「概算単位」の倍数の値とする。なお、「概算単位」は、C9の「国コード」をもとに、シート名「渡航先表」を参照して求める。また、F9が空欄またはNGの場合、またC20が空欄の場合は何も表示しない。
- (11) C25の「日当」は、C17の値を表示する。ただし、C17が空欄の場合は何も表示しない。
- (12) C28の「合計」は、C25～C27の合計を求める。ただし、C25の「日当」は、D24の「帰国時レート」によって現地通貨に換算する（通貨単位未満四捨五入）。なお、F6およびF9のいずれかが空欄、またはNGの場合は何も表示しない。
- (13) C29の「差額」は、F21の「現地通貨概算」からC28の「合計」を差し引いて求める。ただし、F21またはC28が空欄の場合は何も表示しない。
- (14) C30の「精算額」は、C29の「差額」を、D24の「帰国時レート」によって日本円に換算し、100円未満を切り上げ、絶対値で表示する。ただし、C29が空欄の場合は何も表示しない。
- (15) E30には、C29の「差額」がプラスの場合は返金を表示し、マイナスの場合、C30の「精算額」が10,000円を超える場合は随時追加支給、10,000円以下の場合は月末追加支給を表示する。ただし、C30が空欄または返金も追加支給もない場合は何も表示しない。

設問1 シート名「出張費精算書」のC6に設定する式の空欄(1)～(3)をうめなさい。

=IF(OR(C4="",C5="NG"), "",
IFERROR((1) (2) (C4,1), 諸手当表!B5:C8, 2, FALSE), (3)))

※関数 IFERROR は、数式の結果がエラーの場合は指定された値を返し、それ以外は数式の計算結果を返す。

書式 IFERROR(数式, エラーの場合の値)

設問2 シート名「出張費精算書」のC17に設定する式の空欄(1)～(5)をうめなさい。

=IF(OR(F6="",F6="NG"), "",
ROUND((INDEX(諸手当表!D5:G8, MATCH((1) (C4,1), 諸手当表!B5:B8, 0),
(2) ((3) (C4,1))) * (4) (F13, 14)
+INDEX(諸手当表!D5:G8, MATCH((1) (C4,1), 諸手当表!B5:B8, 0),
(2) ((3) (C4,1))) * 0.7 * (5) (F13-14, 0)) * HLOOKUP(C9, 渡航先表!B3:E7, 5, FALSE), -3))

設問3 シート名「出張費精算書」のC21に設定する式の空欄(1)～(3)をうめなさい。

=IF(OR(F9="",F9="NG"), "", "1" (1) HLOOKUP((2) , 渡航先表!B3:E7, (3) , FALSE))

設問4 シート名「出張費精算書」のF21に設定する式の空欄(1)～(3)をうめなさい。

=IF(OR(F9="",F9="NG",C20=""), "", (1) (C20/D21, (2) (C9, 渡航先表!B3:E7, (3) , FALSE)))

設問5 シート名「出張費精算書」のC30に設定する式の空欄(1)～(3)をうめなさい。

=IF(C29="", "", ABS((1) ((2) , (3))))

※関数 ABS は、数値の絶対値を求める。

書式 ABS(数値)

設問6 シート名「出張費精算書」のE30に設定する式の空欄(1)～(5)をうめなさい。

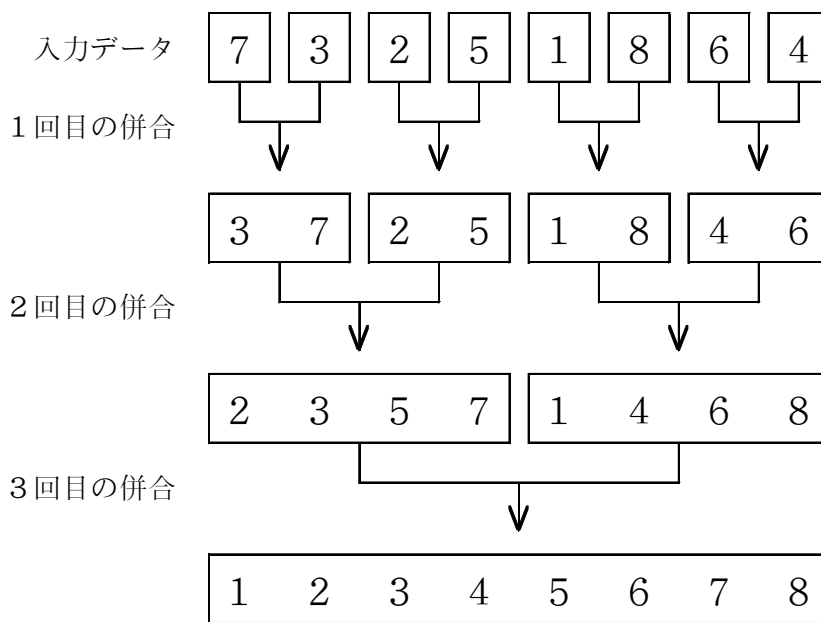
=IF(OR(C30="", (1)), "", IF((2) , (3) , IF((4) , "随時追加支給", (5))))

【3】 配列に連続して格納されている 2^n ($n=1, 2, 3, \dots$) 個の整数を、併合を n 回繰り返し、昇順に整列するプログラムを作成した。処理条件にしたがって、流れ図の (1) ~ (5) の空欄にあてはまる適切なものを解答群から選び、記号で答えなさい。

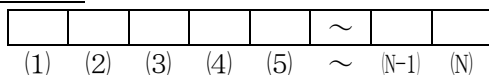
処理条件

- (1) 配列 INARY に格納されている要素を昇順に整列して、配列 OUTARY に格納する。なお、配列 INARY, OUTARY を作業領域として使用し、最終結果を、配列 OUTARY に格納する。
- (2) 各配列の添字は、1 からはじまる。
- (3) 変数 N に配列の要素数を格納する。
- (4) 変数 ELM を要素の比較範囲の管理に利用する。

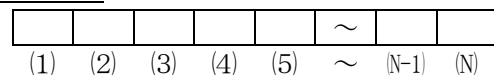
例 配列要素数 8 (2^3)、昇順



配列 INARY

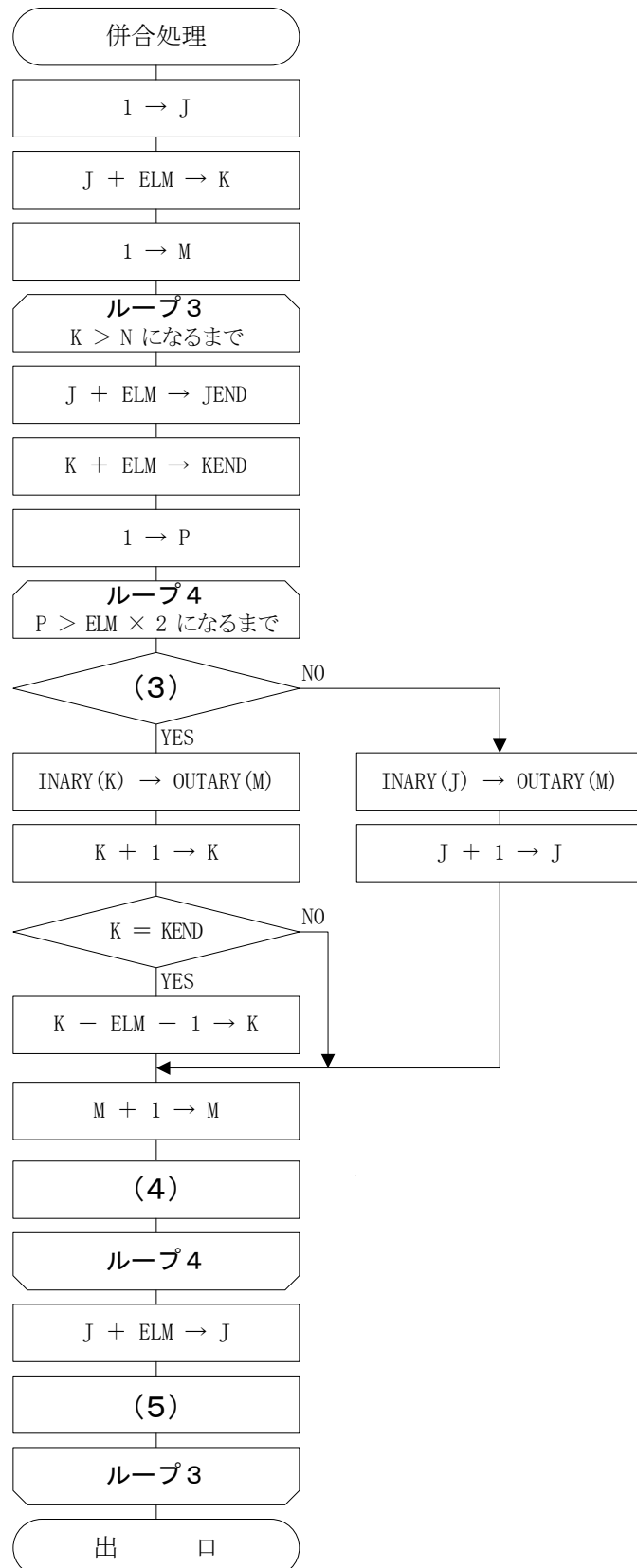
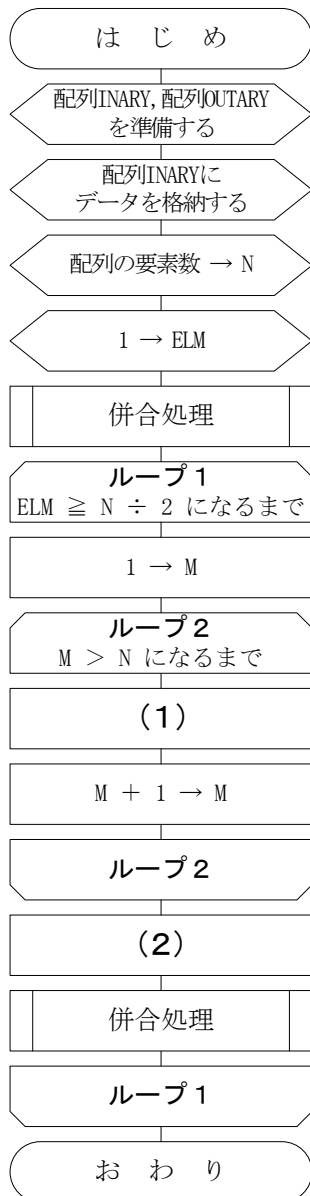


配列 OUTARY



解答群

- | | |
|---|---|
| ア $M \rightarrow \text{INARY}(M)$ | イ $\text{OUTARY}(M) \rightarrow \text{INARY}(M)$ |
| ウ $\text{INARY}(M) \rightarrow \text{OUTARY}(M)$ | エ $K + \text{ELM} \rightarrow K$ |
| オ $J + \text{ELM} \rightarrow K$ | カ $K + 1 \rightarrow K$ |
| キ $P \times 2 \rightarrow P$ | ク $P + 1 \rightarrow P$ |
| ケ $P + \text{ELM} \rightarrow P$ | コ $\text{ELM} \times 2 + 1 \rightarrow \text{ELM}$ |
| サ $\text{ELM} \times 2 \rightarrow \text{ELM}$ | シ $\text{ELM} + 1 \rightarrow \text{ELM}$ |
| ス $J = \text{JEND}$ かつ $\text{INARY}(J) > \text{INARY}(K)$ | セ $J = \text{JEND}$ または $\text{INARY}(J) > \text{INARY}(K)$ |
| ソ $J \neq \text{JEND}$ かつ $\text{INARY}(J) > \text{INARY}(K)$ | |



【4】 ある体操競技の予選大会のデータを入力し、出力形式のように成績の一覧表を出力したい。処理条件にしたがって流れ図の(1)～(6)の空欄をうめなさい。

入力形式

成績ファイル

選手番号	種目番号	得点
SBANGO	SYU	TEN

出力形式

(選手名)		(個人成績)															
(団体名)	(ゆか)	(あん馬)	(つり輪)	(跳馬)	(平行棒)	(鉄棒)	(総合計)	(順位)									
佐藤 大翔	○○○	14.966	7	15.133	15.400	8	16.333	6	15.366	6	15.033	92.231	1				
鈴木 蓮	□□□	14.766		14.200	14.566		15.800		15.258		15.566	5	90.156	2			
高橋 颯太	△△△	14.633		14.000	14.966		15.933		15.341		14.766		89.639	3			
山本 陽翔	☆☆☆	14.700		13.733	15.233		15.900		14.766		15.266	8	89.598	4			
伊藤 大和	△△△			15.300	8				14.266				29.566	282			
(団体名)		(団体成績)															
(ゆか)	(あん馬)	(つり輪)	(跳馬)	(平行棒)	(鉄棒)	(総合計)	(順位)										
□□□	56.933	57.848	60.798	64.266	62.306	60.331	362.482	1									
○○○	56.831	58.265	61.466	63.399	61.007	60.432	361.400	2									
▽▽▽	57.832	55.999	59.399	63.657	59.540	60.665	357.092	3									

処理条件

- 競技種目は6種目あり、種目番号と種目の対応は、次のとおりである。
1：ゆか、2：あん馬、3：つり輪、4：跳馬、5：平行棒、6：鉄棒
- 競技種別は、次の3つである。
・団体総合：各団体は5名の選手を登録でき、各種目最大5名が演技を行い、上位4名の得点合計を団体の種目得点とし、6種目の得点の総合計で順位を競う。ただし、すべての種目に4名以上出場していない団体は、団体総合の対象外とする。
・個人総合：6種目の得点の総合計で順位を競う。
・個人種目別：各種目の得点で順位を競う。
- 成績ファイルを読み、出力形式のように個人成績と団体成績を出力する。
・個人成績は、全選手の各種目の得点と種目順位、および総合計と総合順位を総合順位順に出力する。ただし、種目順位の出力は8位までとする。
・団体成績は、団体総合対象団体の各種目の得点、および総合計と総合順位を総合順位順に出力する。
- 選手番号は、団体番号にその団体内での1からの連番が付加され構成されている。
例

1	1
↑	↑
団体番号	団体内連番

2	3	1
↑	↑	↑
団体番号	団体内連番	団体内連番

1	0	0	1
↑	↑	↑	↑
団体番号	団体内連番	団体内連番	団体内連番
- 参加団体数は100団体以内であり、変数DANSUに記憶され、参加人数は、変数NINZUに記憶されている。
- 配列SBANには選手番号、配列SMEIには選手名が選手番号の昇順に記憶されており、それぞれの配列は添字で対応している。
- 配列STENに各選手の得点を集計し、配列SJUNに各種目の得点に対する順位を求める。ただし、配列STENの7列目には総合計を集計する。なお、それぞれの配列の行方向の添字は配列SBAN、列方向の添字は種目番号と対応している。
- 配列DMEIには団体名が記憶されており、団体番号と添字が対応している。
- 配列DTENに各団体の得点を集計し、配列DNINZUに各種目の出場者人数を集計する。ただし、配列DTENの7列目には総合計を集計し、8列目には総合計に対する順位を求める。なお、それぞれの配列の行方向の添字は配列DMEI、列方向の添字は種目番号と対応している。
- 配列DMINは、団体得点を求めるために利用する。
- 成績ファイルの得点に0はなく、入力データに誤りはないものとする。

配列 SBAN

(1)	11
(2)	21
(3)	22
∫	∫
(499)	
(500)	

配列 SMEI

(1)	山本	陽翔
(2)	高橋	颯太
(3)	伊藤	大和
∫	∫	∫
(499)		
(500)		

配列 STEN

	(1)	(2)	～	(6)	(7)
(1)			～		
(2)			～		
(3)			～		
∫	∫	∫	∫	∫	∫
(499)			～		
(500)			～		
	(ゆか)	(あん馬)	～	(鉄棒)	(総合計)

配列 SJUN

	(1)	(2)	～	(6)	(7)
(1)			～		
(2)			～		
(3)			～		
∫	∫	∫	∫	∫	∫
(499)			～		
(500)			～		
	(ゆか)	(あん馬)	～	(鉄棒)	(総合計)

配列 DMEI

(1)	☆☆☆
(2)	△△△
(3)	◇◇◇
∫	∫
(99)	
(100)	

配列 DTEN

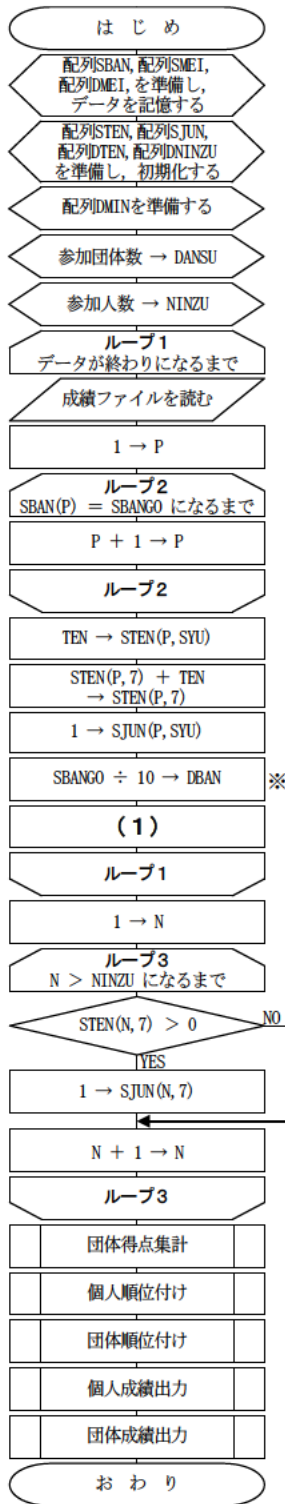
	(1)	(2)	～	(6)	(7)	(8)
(1)			～			
(2)			～			
(3)			～			
∫	∫	∫	∫	∫	∫	∫
(99)			～			
(100)			～			
	(ゆか)	(あん馬)	～	(鉄棒)	(総合計)	(順位)

配列 DNINZU

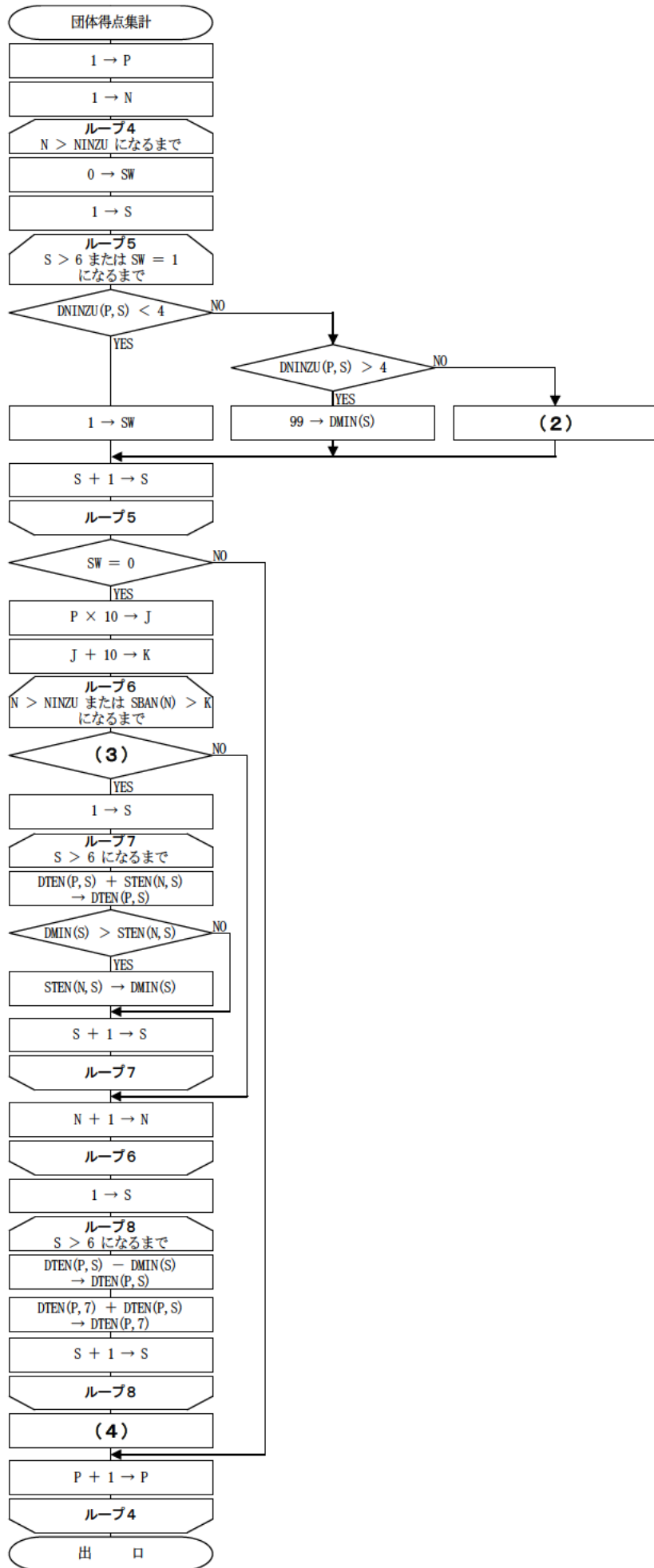
	(1)	(2)	～	(6)
(1)			～	
(2)			～	
(3)			～	
∫	∫	∫	∫	∫
(99)			～	
(100)			～	
	(ゆか)	(あん馬)	～	(鉄棒)

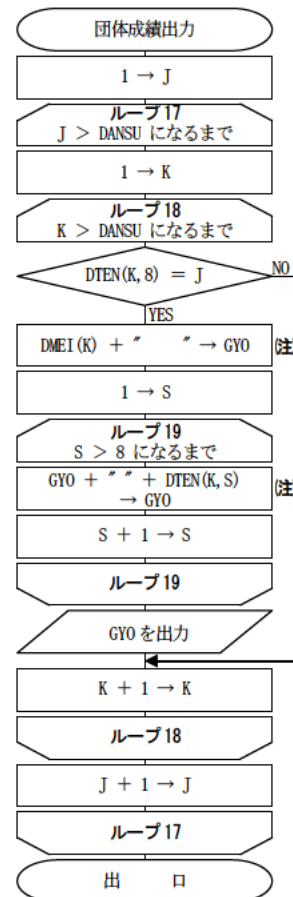
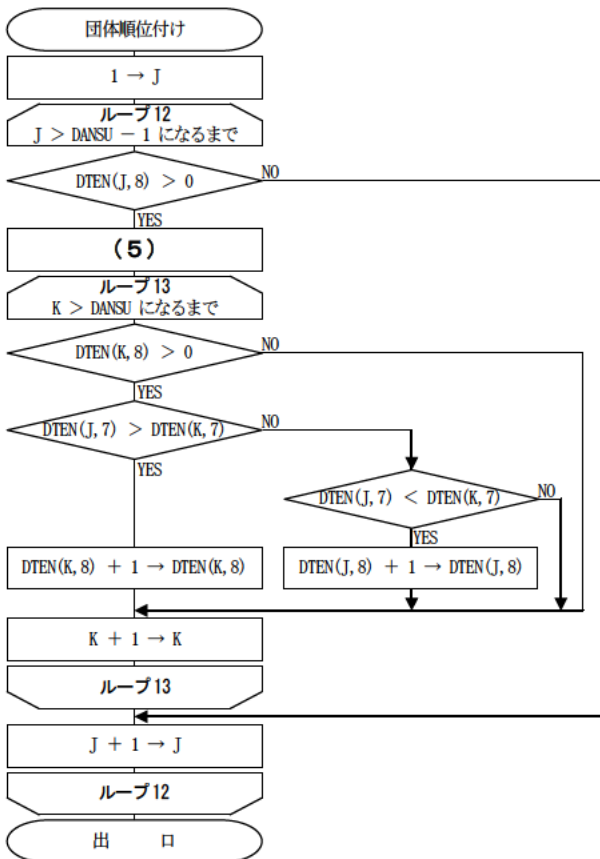
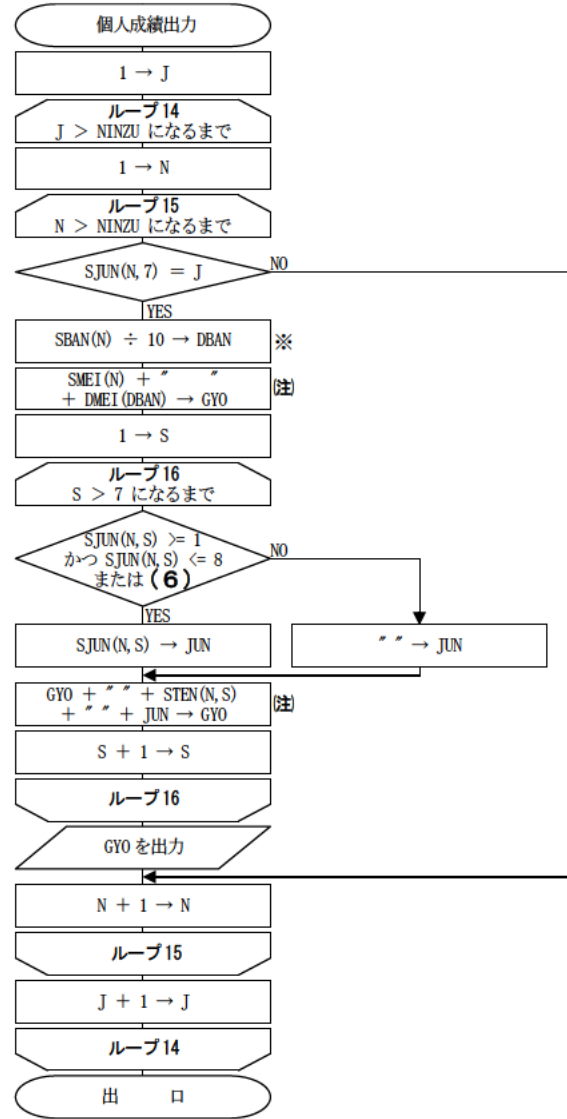
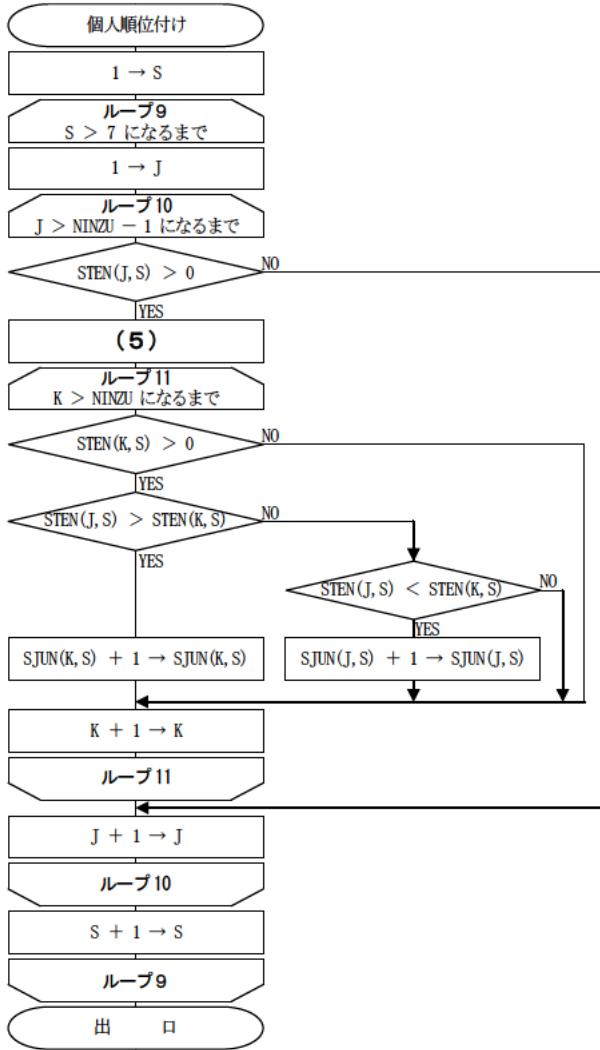
配列 DMIN

	(1)	～	(6)
		～	



※ 小数点以下切り捨て





※ 小数点以下切り捨て

注 文字列の連結

[II] 表計算とアルゴリズム 解答用紙

選手番号		得点	
------	--	----	--

【1】

設問 1	(1)		(2)		
設問 2	(1)		(2)		
設問 3	(1)		(2)		
設問 4	(1)		(2)		(3)
設問 5	(1)		(2)		

【2】

設問 1	(1)		(2)		(3)	
設問 2	(1)		(2)		(3)	
	(4)		(5)			
設問 3	(1)		(2)		(3)	
設問 4	(1)		(2)		(3)	
設問 5	(1)		(2)		(3)	
設問 6	(1)		(2)		(3)	
	(4)		(5)			

【3】

(1)		(2)		(3)		(4)		(5)	
-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--

【4】

(1)	
(2)	
(3)	
(4)	
(5)	
(6)	

【II】表計算とアルゴリズム 審査基準

選手番号		得点	
------	--	----	--

【1】

設問 1	(1)	MID	(2)	"F"		
設問 2	(1)	キ	(2)	イ		
設問 3	(1)	INDEX	(2)	MATCH		
設問 4	(1)	エ	(2)	イ	(3)	ク
設問 5	(1)	カ	(2)	ウ		

設問ごとに4点 20点

【2】

設問 1	(1)	VLOOKUP	(2)	LEFT	(3)	"NG"
設問 2	(1)	LEFT	(2)	VALUE	(3)	RIGHT
	(4)	MIN	(5)	MAX		
設問 3	(1)	&	(2)	C9	(3)	3
設問 4	(1)	CEILING	(2)	HLOOKUP	(3)	4
設問 5	(1)	ROUNDUP	(2)	D24*C29	(3)	-2
設問 6	(1)	C30=0	(2)	C29>0	(3)	"返金"
	(4)	C30>10000	(5)	"月末追加支給"		

設問ごとに5点 30点

【3】

(1)	イ	(2)	サ	(3)	セ	(4)	ク	(5)	オ
-----	---	-----	---	-----	---	-----	---	-----	---

各4点 20点

【4】

(1)	DNINZU(DBAN, SYU) + 1 → DNINZU(DBAN, SYU)
(2)	0 → DMIN(S)
(3)	SBAN(N) > J
(4)	1 → DTEN(P, 8)
(5)	J + 1 → K
(6)	S = 7

各5点 30点